第３学年１組　家庭科学習指導案

直方市立直方第三中学校

題材名　「これからのわたしと家族」

本時　　「中学生と家族とのかかわり」

本時の概要

平成１０年の学習指導要領が告示されて以降、小・中・高等学校の家庭科は、少子高齢化への対応や男女共同参画社会の推進を考慮して、家庭の在り方や家族の人間関係、子育ての意義などの内容が一層充実されるようになり、今日、家庭科教育に寄せられる期待も大きい。

生徒はこれまでに保育学習で家庭のはたらきや、家庭内と社会における男女共同参画について学習してきた。また、子どもの成長と家族の役割について学習することで、生徒達自身が家族に支えられ成長してきたことを理解している。

しかし、家庭の教育力の低下や、物質的な豊かさと便利さの中で失われている人との関わりや、他者を支援したり他者から支援を受けたりという人間関係の大切さを、生徒達自身が実感できるように、様々な学習の場を用意する必要がある。

家族関係に関するロールプレイングを仕組むことで、家族員が互いに相手の立場や役割を理解し協力し合うことが大切であることに気付き、中学生として家族関係をよりよくするにはどのようなことができるかを考えさせたい。

中学生になると、家族や地域の人々との関わりよりも友人同士の関わりを優先することが多くなり、自分と同世代以外の人との関係を煩わしく思う時期である。こうした時期に生徒一人ひとりが家族や地域の人々に目を向け、他者や社会との関わりを通して、自分の生活をよりよくしていくことに気付かせることは、大変意義深い。

１　本時で育てたい思考力･判断力･表現力とは

前時の活動で生徒達は、小学生時と現在で、自分と親との関係がどのように変化したかを感じとっている。そこで、ロールプレイングの手法を使って、それぞれの仮想家族の課題を解決させる。

その中で、よりよい家族関係を作るためにその家族の立場になっての言動を考えることが思考力であり、どのような言動をとったらよりよいのか考えることが判断する力である。また、他の班へアドバイスを送るために視点をもって記述したり学習のまとめの場面で、これから中学生として家族とよりよい関係を築くためにどのようにしたらよいか考えをまとめ、ワークシートに表したり発表する力が表現力である。

このような活動を通して、実生活での自分の家族を振り返り、よりよい家族関係を築こうとする言動ができ、個人の考えが深まるものと考える。

２　本時の授業仮説

仮想家族の課題を解決させる学習において以下の工夫を行えば、班内での意見交流を通して、個人の考えに新たなる視点をもたらすことで個人の思考が深まり、家族に対してより良い関わり方について理解できるであろう。

○　家族の課題に対するよりよい解決策を見いだすために、評価の観点を明確にしたアドバイスを送る。
○　家族との過ごし方や家族間のマナーについて日頃の自分の態度を振り返らせる。
○　自分の出した結論が初発の考えからの深まりが分かるワークシートを作成する。

３　授業実践の実際

⑴　主眼　ロールプレイングを通して、家族の人々の生活や気持ちを理解し、よりよい関わり方を考え記述することができる。

⑵　準備　教科書、ワークシート、アドバイスカード、パソコン、ロールプレイングの台本

⑶　展　開

学習過程	学習活動・内容	学習形態	指導上の留意点	評価規準	配時
課題設定	1　前時の振り返りを行う。 ・小学生の時の親との関係と中学生になった今の関係の変化や違いは何か。	全体	・本時の課題をつかませるために、前時の学習を想起させる。		3
	【学習のめあて】 家族関係をよりよくするには、どのようにしたらよいか考えよう。				
課題追求	2　アドバイスカードに書く視点の確認をする。 ・よりよい解決法について ・その家族の立場になった時の考え ・家族としてのルールやマナー	全体	・家族関係をよりよくするために、各班の課題解決の方法についてアドバイスを送ることができるように、見る視点を確認させる。		2
	3　班ごとにロールプレイングを発表する。	全体	・アドバイスカードに記入できているか机間指導を行い、書けていない生徒には、視点のうち、一つでも書くように助言を行う。		25
	4　それぞれの班とアドバイスカードを交換し、ロールプレイングの台本を練り直す。	班	・他の班からもらった感想やアドバイスを基に、よりよい家族関係を考えさせ、台本を修正させる。 ・修正案が出ない班には、違う役（立場）になって考えることで、また違う解決法が出てくることを助言する。		10
まとめ	5　ワークシートに学習のまとめと感想を記入し、発表する。	個人	・家族関係をよりよくするにはこれからどうしていったらよいかを考えさせるために、家族との過ごし方や家族間のマナーについて日頃の自分の態度を振り返らせる。	（思考・判断・表現） よりよい家族関係を築くにはどのようにしたらよいかを考え、記述することができる。 【ワークシート】 【アドバイスカード】	8
	6 本時のまとめを確認する。	全体			2
	【学習のまとめ】 ・自分の我がままや意見を押し通さずに、家族それぞれの立場や気持ちを考えた言動をすることが大事である。 ・お互いが認め合い、助け合うことが大切である。				

家庭科ワークシート「中学生と家族とのかかわり」　　教科書P.56

1　あなたと親との関係(家族との過ごし方 , 言葉遣い , 家族に対する態度や気持ちなど)を、振り返ってみよう。

小学生の時	中学生の今
・ 家族との過ごし方	・ 家族との過ごし方
・ 親に対する言葉遣い	・ 親に対する言葉遣い
・ 家族に対する態度や気持ち	・ 家族に対する態度や気持ち

2　ロールプレイングを通して、家族関係をよりよくしていくためには、どんなことに気をつけたり、どのように家族と関わったりしたらよいと思いましたか？　考えたことと感想も含めてまとめをしましょう。

３年（　　）組（　　）番（　　）

ロールプレイングの評価とアドバイスをしよう。　　（A・B・Cは○をつける）

班	発表の態度	解決の仕方	アドバイスや他の解決法
班	A・B・C	A・B・C	

氏名（　　）

ロールプレイングの評価とアドバイスをしよう。　　（A・B・Cは○をつける）

班	発表の態度	解決の仕方	アドバイスや他の解決法
班	A・B・C	A・B・C	

氏名（　　）

ロールプレイングの評価とアドバイスをしよう。　　（A・B・Cは○をつける）

班	発表の態度	解決の仕方	アドバイスや他の解決法
班	A・B・C	A・B・C	

氏名（　　）

ロールプレイングの評価とアドバイスをしよう。　　（A・B・Cは○をつける）

班	発表の態度	解決の仕方	アドバイスや他の解決法
班	A・B・C	A・B・C	

氏名（　　）

ロールプレイングの台本を考えよう。

１班の家族の場面

祖父母が孫を甘やかし、父母と意見が分かれる。
この家庭はお小遣い制だが、孫にねだられると、
ホイホイお小遣いを渡してしまうので、お金を
大事に使わせたい親と、意見が分かれてしまう。

登場人物	演じる人

★　家族会議の台本を考えてみよう。

ロールプレイングの台本を考えよう。

２班の家族の場面

今日の夕飯は何が食べたいか聞く母親に対して
子ども達は手伝いもしないのに様々な答えを好き
勝手言っている。
その会話を聞いていた父親を交えて・・・

登場人物	演じる人

★　家族会議の台本を考えてみよう。

ロールプレイングの台本を考えよう。

３班の家族の場面

携帯電話の今月の請求額が、約束の５千円を
上回ってしまいました。また、携帯電話を食事中
や深夜遅くまで使っている始末。
そんな中学生を取り巻く家族の話し合いは・・・

登場人物	演じる人

★　家族会議の台本を考えてみよう。

ロールプレイングの台本を考えよう。

４班の家族の場面

中学生のきょうだいで部屋を一緒に使っている。
この子どもたちは片付けが苦手でどこに何が
あるか分からない状態。自分達の部屋だけではなく
家族みんなで使う空間まで子どもたちの物が
あちこちに散らばっている。

登場人物	演じる人

★　家族会議の台本を考えてみよう。

ロールプレイングの台本を考えよう。

５班の家族の場面

遊びに行く時の門限は６時だが、最近６時10分
６時半と、だんだん遅くなってズルズルと７時
まで伸ばそうとする中学生の娘。娘は娘で
兄は遅くても怒られない事に不満をもっている。
親は娘に６時を守ってもらいたい。

登場人物	演じる人

★　家族会議の台本を考えてみよう。

ロールプレイングの台本を考えよう。

６班の家族の場面

中学生になって親との会話が少なくなってきた息子。
テストや部活の試合の事を聞かれても、そっけない返事しかしない。先日も友達の家族に映画に連れて行ってもらったことを、自分の親に伝えておらず、人づてに聞いてお礼も言ってないままの親は、息子に腹を立てる。

登場人物	演じる人

★　家族会議の台本を考えてみよう。